

週間感染症情報

2017年7週 2017年2月13日より2017年2月19日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	1
ムンプス(おたふくかぜ)	3
百日咳	
溶連菌感染症	11
手足口病	
ヘルパンギーナ	
伝染性紅斑	
感染性胃腸炎	30
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	1
突発性発疹	3
伝染性膿痂疹(とびひ)	6
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	2
RSウイルス感染症	2
マイコプラズマ感染症	3
インフルエンザ(臨床診断含む)	400
インフルエンザA	349
インフルエンザB	22
A+B	

当院の周辺では、インフルエンザは減少しました。インフルエンザBを見かけるようにはなりましたが、大きな流行にはなっていません。今週になり2月23日までの報告数は、A型136例、B型8例、臨床診断13例 合計157例と半減しました。

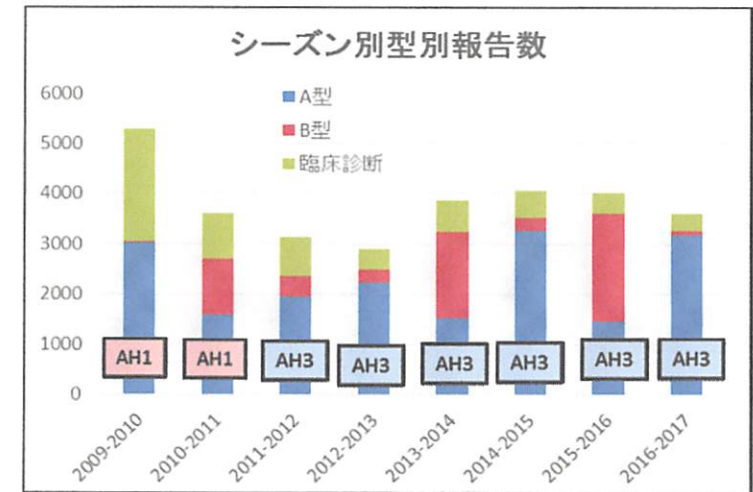
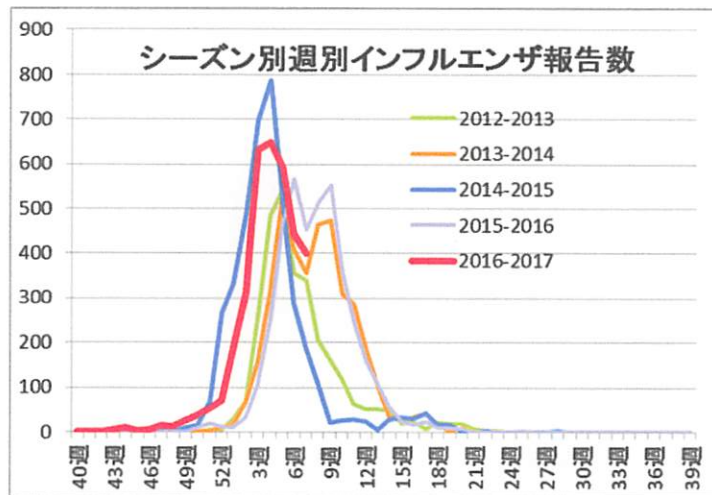
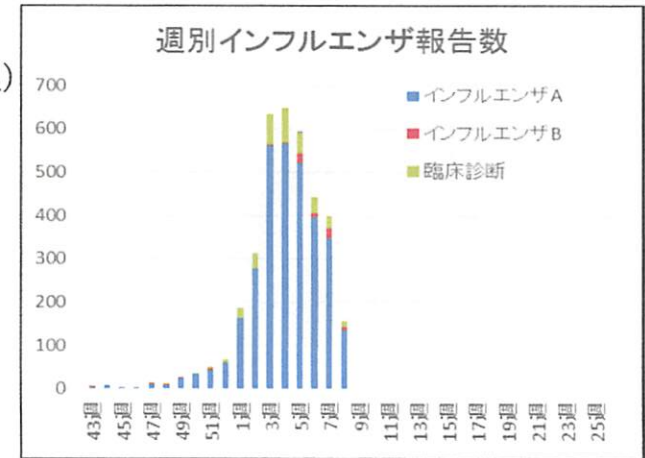
下のグラフからお分かりのように、今シーズンは2014-2015シーズンと同様にA型が流行しています。市内では6シーズン連続でAH3(香港型)の流行です。昨シーズンA型にり患している人は、ウイルスの変化が小さかったのか、今シーズンり患している人は少ない印象です。

B型は昭和地区で流行しています。

ワクチン接種率が上昇して、水痘やムンプスの報告は少なくなりました。

溶連菌感染症、マイコプラズマ感染症の報告は続いています。

感染性胃腸炎の報告は減少しています。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)